

令和5年4月3日
中国総合通信局

令和5年度 中国総合通信局の目標及び重点施策

I 目標： 社会をデジる！未来をデジる！

#デジタルで変革 #中国地域をアップデート

情報通信は、単なる「コミュニケーションの手段」から、今や「重要な社会インフラ」にその位置付けが大きく変わってきており、生活や社会、経済の根幹をなし、政治、外交、安全保障という意味でも極めて重要な分野となっています。

そのような認識の下、政府としては、「デジタル田園都市国家構想」を打ち出し、地方からデジタルの実装を進め、地方と都市の差を縮めていくことを目指していることから、当局としては、中国地域においてその一翼を担うべく、以下の観点から重点施策に取り組みます。

II 重点施策

1 デジタル基盤の整備と強靱化

「デジタル田園都市国家構想」の実現に向けては、その前提として、ハード・ソフトのデジタル基盤が十分に整備されているとともに、いついかなる状況においても利活用できることが必要不可欠です。

そのため、地域におけるデジタル基盤について、その格差是正や強靱化を図るとともに、将来に向けた研究開発等を推進します。

(1) 新たな日常を支えるデジタル基盤の整備

日常生活や企業活動において、デジタル化の恩恵を最大限に享受できるようにするため、「デジタルインフラ整備中国地域協議会」の活動を通じて、地域において高速・大容量の通信基盤の整備を推進します。

【主な施策】

- ・「デジタルインフラ整備中国地域協議会」の活動推進
- ・光ファイバ網の整備推進
- ・5G 基地局等の整備推進

(2) 非常災害時の通信・放送手段の迅速な確保

デジタル基盤は、非常災害等の発生時においても円滑・安定的に利活用できるだけでなく、むしろそのような時にこそ、その真価を発揮することが求められます。

そのため、非常災害時においても耐えうるよう、デジタル基盤の強靱化を推進するとともに、被害を受けたとしても、その影響を最小限に抑制する方策を関係機関と連携して展開します。

【主な施策】

- ・通信・放送ネットワークの強靱化
- ・非常災害時における通信サービス・放送手段の提供確保
- ・防災関係機関との連携強化

(3) 将来・未来に向けた研究開発・人材育成

IoT、AI、Beyond 5G 等、今後もデジタル技術の進化は止まるところを知らず、それに伴い、その利活用の範囲も無限に拡大することが想定されます。

そのため、大学や高専等を中心に、地域においてこれらに貢献する研究開発や担い手となる人材の育成を推進します。

【主な施策】

- ・Beyond5G 等の先端的な研究開発の推進
- ・若者等を対象としたハッカソン事業の推進

2 デジタル実装による地域課題解決

デジタル技術を活用することにより、社会を便利で豊かにし、新たな価値を創造することはできるとしても、従来のやり方や慣習を変革することには抵抗やあつれきが生じるものですし、そもそも何かからはじめたらよいか戸惑うことが考えられます。

そのため、まずはチャレンジ意欲ある方を応援して成功事例を積み上げるとともに、それらを起爆剤にして地域的・分野的な連鎖の波を引き起こしていきます。

(1) 地域課題の解決

地域課題の解決手段として特に期待されているローカル 5G 等のデジタル基盤の活用推進や放送コンテンツの発信力強化を図るとともに、課題解決に着目するベンチャー・スピリッツを応援します。

また、関係機関と連携して、地域課題に直面する自治体とデジタル技術を有する事業者等とのマッチングを推進し、具体的な課題解決事例の実現に向け、積極的に働きかけます。

【主な施策】

- ・5G 等の地域デジタル基盤の活用推進
- ・放送コンテンツの製作・流通推進
- ・地域発 ICT スタートアップ支援
- ・デジタル技術を活用した地域課題解決提案会の開催
- ・スマートシティの推進

(2) デジタル変革 (DX) の推進

デジタル化の進展に合わせて、まずはできることから、従来の業務・組織のあり方に変革を促進し、地域全体にデジタル化の恩恵や効用をもたらします。

【主な施策】

- ・自治体・企業・地域社会の DX 推進
- ・テレワークの導入促進・定着
- ・オープンデータの利活用推進

(3) 関係機関との連携強化・拡大

デジタル化を地域全体に推進するに当たっては、「デジタルインフラ整備中国地域協議会」に限らず、産学官金の各種関係機関との連携・協力体制が不可欠です。

そのため、これまでに築き上げてきた各種ネットワークを最大限に活用・拡大し、施策を相乗的に展開します。

【その他の主な関係機関ネットワーク】

- ・中国地域における Society5.0 の実現に向けた連携・協力会
- ・中国情報通信懇談会
- ・スマートシティ関連地方局連絡会議

3 デジタルリテラシーの向上と安心安全な通信利用環境の整備

デジタル技術は有用なツールではありますが、誰もが初めから使いこなせるわけではなく、悪用されるリスクも潜んでいます。また便利なツールであるため、使い方によっては、トラブルも発生しますし、被害は個々の利用者にとどまらず、広範囲に拡大し、社会問題化する可能性もあります。

そのため、利用者の利活用段階に応じたきめ細やかな対策とともに、地域を挙げた社会的な枠組みでの対応の両面から施策を展開します。

(1) デジタルリテラシーの向上

高齢者等でスマートフォン等を利用することに不安を抱える方、青少年のように好奇心に任せてインターネット等で危険な使い方をする方、企業や団体においてデジタル技術を利活用する中、その使い方によっては組織全体、さらには社会の広範囲に影響を及ぼしかねない方等、利用者の方の置かれた状況等に応じたセミナーや講習会等を積極的に開催します。

【主な施策】

- ・高齢者向けスマホ講習の推進
- ・青少年向けデジタルリテラシーの向上
- ・サイバーセキュリティ人材の育成

(2) 安心・安全な通信利用環境の整備

個々の利用者では対応できないことについては、行政の立場から、又は地域社会全体で対応し、安心・安全な通信利用環境を整備します。

【主な施策】

- ・電波監視と不法無線局の取締り強化
- ・消費者保護の取組強化
- ・医療機関等の電波利用環境整備の推進
- ・「中国地域サイバーセキュリティ連絡会」との連携強化

(3) G7 広島サミット等における電波監視の特別・重点対応

本年は我が国が G7 議長国であり、広島において G7 サミットが開催されるとともに、全国各地で関係閣僚会合が開催されます。

そのため、当局としては、サミットと関係閣僚会合の成功に向け、開催地となる県・市・県警等の当地関係機関、さらには総務本省や全国の地方総合通信局等と連携・協力し、万全の体制で電波監視に臨みます。

【中国地域でのサミット関連会合】

- ・ G7 広島サミット (5 月 19～21 日)
- ・ G7 倉敷労働雇用大臣会合 (4 月 22・23 日)

【参考】目 標：社会をデジる！未来をデジる！ について

※DX（デジタル変革）により中国地域をアップデートしていくことを目標に、今の社会をデジタル化するだけでなく、未来に向けてもデジタル化していこう、とチャレンジし続ける姿勢を表現したもの